

# MAZDA CX-8 Last Chance

## MAZDA CX-8

最大7人まで快適に乗れる3列シートSUVにふさわしい  
静かな上質空間と充実のユーティリティ。

今年12月生産終了

今なら  
間に合います!

3列シートSUVを手にするなら今がチャンス

MAZDA CX-8は、2023年12月をもちまして生産終了いたします。  
ご注文が、12月での生産台数に達した時点で、販売終了となります。  
詳しくは営業スタッフにおたずねください。



XD Exclusive Mode 2.2L ディーゼルエンジン

車両本体価格(消費税込)¥4,657,400

SKYACTIV-D 2.2 / 6速AT / 2WD (FF) [EF4-F1-0]  
※写真掲載色ロジウムホワイトプレミアムメタリックは  
上記価格より55,000円(消費税込)高くなります。

環境性能割+  
自動車重量税  
優遇措置により

0円



## CX-8 の特長

### 室内空間



サードシートを持つSUVとしてCX-8が目指したのは、  
心身ともに実感できる走りの気持ちよさと上質な快適性を、  
乗る人すべてが安心して楽しめること。

キャプテンシートをはじめとする  
高機能セカンドシート。  
ライフスタイルに合わせて選べる  
3タイプをご用意しました。

### シートバリエーション



### カラーコーディネーション



洗練されたピュアホワイトやブラックの  
ナッパレザーをはじめ、  
上質でお手入れしやすいグレイジュの合成皮革など、  
7種のカラーコーディネートを用意。

## CX-8の安全性へのこだわり

詳細はこちら

「法規を守るだけでなく、お客様を守る」。

これがマツダの衝突安全が目指す基本的な考え方です。



リアルワールドの事故に対して、各国の法規やNCAP※1でカバーできる範囲はまだ一部と言えます。それを踏まえ、これらでカバーすることができていないリアルワールドでの事故被害の低減を目指し、バックキャストの思想で技術開発を行なっています。

もちろん法規やNCAPは年々強化されており、自動ブレーキや先進安全装備の装着車も増えてきていることもあって、日本市場における死亡重傷事故は減ってきています。しかし死亡重傷者ゼロを実現するにはまだ長い道のりがあるのが現実です。衝突安全は「お客様を守る最後の砦」と考え、私たちはその実現を目指し日々開発を続けています。

※1 NCAP (New Car Assessment Programme 新車アセスメントプログラム)

### 日本の事故実態に即した追突(後突)実験

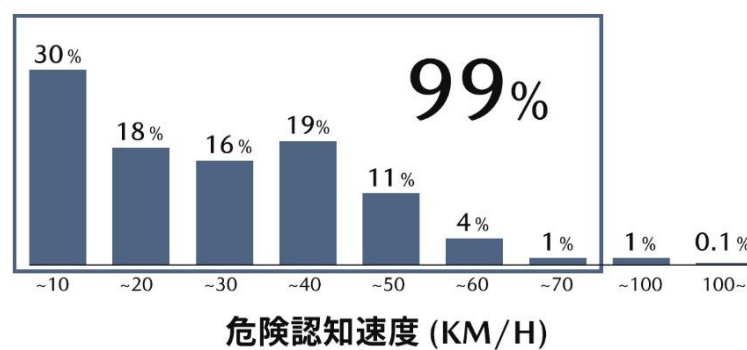
追突(後突)事故の際に一番被害を受ける可能性が高いのは後席乗員です。

日本での追突(後突)事故における保安基準は時速50kmでの衝突安全性を規定していますが、追突事故の99%は時速70km以下の速度域で発生しています。

これらを踏まえ、マツダでは、日本の事故実態に即した速度域での衝突でもしっかり生存空間を確保できることを目標に、車体強度を造り込んでいます。

\*記載の保安基準は2022年5月27日時点の数値となります。

\*図: 日本の追突事故実態。



出典: (公財) 交通事故総合分析センター統計データより作成  
平成28年 事故類型: 追突、2当: 普通乗用車

マツダは3列目のさらなる安全性向上にも力を注いでいます。

リアルワールドにおける衝突安全性を追求するうえで、マツダは3列目のさらなる安全性向上にも力を注いでいます。まずは国内の法規である時速50kmでのフルラップ後面衝突時において燃料漏れがないことを確認し、そのうえで時速80kmでの70%オフセット衝突において、燃料漏れだけでなく、最後席の生存空間をしっかり確保し、非衝突側の後席ドアが人力で開くことをマツダ独自の評価基準として設定しています。

私たちが国内の法規よりもはるかに厳しい時速80kmでの70%オフセット衝突での安全性能を目指すのは、国内の追突事故の99%が時速70km以下で発生しているというリアルワールドでの事故分析に基づくもので、このような場面でもしっかり安全性を確保できるようにするためです。

# MAZDA CX-8 Last Chance

クリーンディーゼル  
優遇措置年内終了!!

## クリーンディーゼル車 納税額の一例

MAZDA CX-8 XD Exclusive Mode 車両本体価格(消費税込) 4,657,400円をご購入の場合

現在  
優遇措置あり

0円

来年1月~  
優遇措置なし

163,500円<sup>※1</sup>

内訳: 環境性能割 114,300円 + 自動車重量税 49,200円



現在クリーンディーゼル車には、優れた環境性能車の普及施策として、購入時に環境性能割+自動車重量税の納付が免除となる優遇措置が適用されますが、本施策は今年12月31日をもって廃止となり、来年1月からは、クリーンディーゼル車の購入においても、税金の納付が必要になります。

※1: 2023年8月現在では、未認可のため、暫定額(社内測定値に基づく税額)を掲載しています。 ※上記金額は、掲載車種の一例であり、グレードごとに金額は異なります。

優遇措置の期限は今年の**12月31日登録まで** ※ご成約から登録までに日数を要する場合があります。